

# 環境活動レポート

(対象期間:平成27年3月1日～平成28年2月29日)

## 第2号



株式会社

**共栄社**

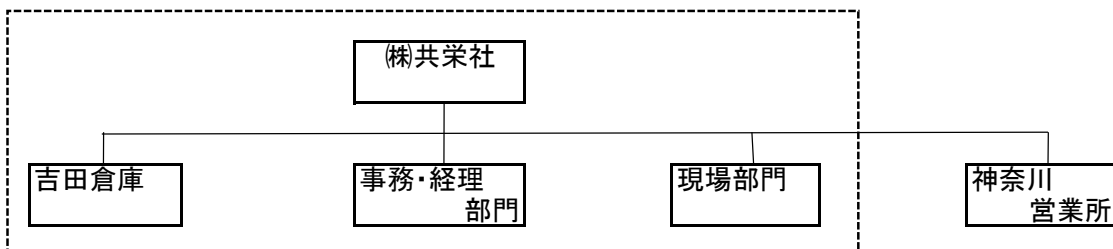
作成日: 平成28年5月27日

# 目次

I. 組織の概要	.....	P.1
II. 実施体制	.....	P.2
III. 環境方針	.....	P.3
IV. 環境目標	.....	P.4
V. 環境活動計画	.....	P.6
VI. 環境目標実績	.....	P.7
VII. 環境活動計画の取組結果とその評価 及び次年度の取組内容	.....	P.15
VIII. 当社の取組み	.....	P.16
IX. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果	.....	P.17
X. 代表者による全体評価と見直し結果	.....	P.18

# I 組織の概要

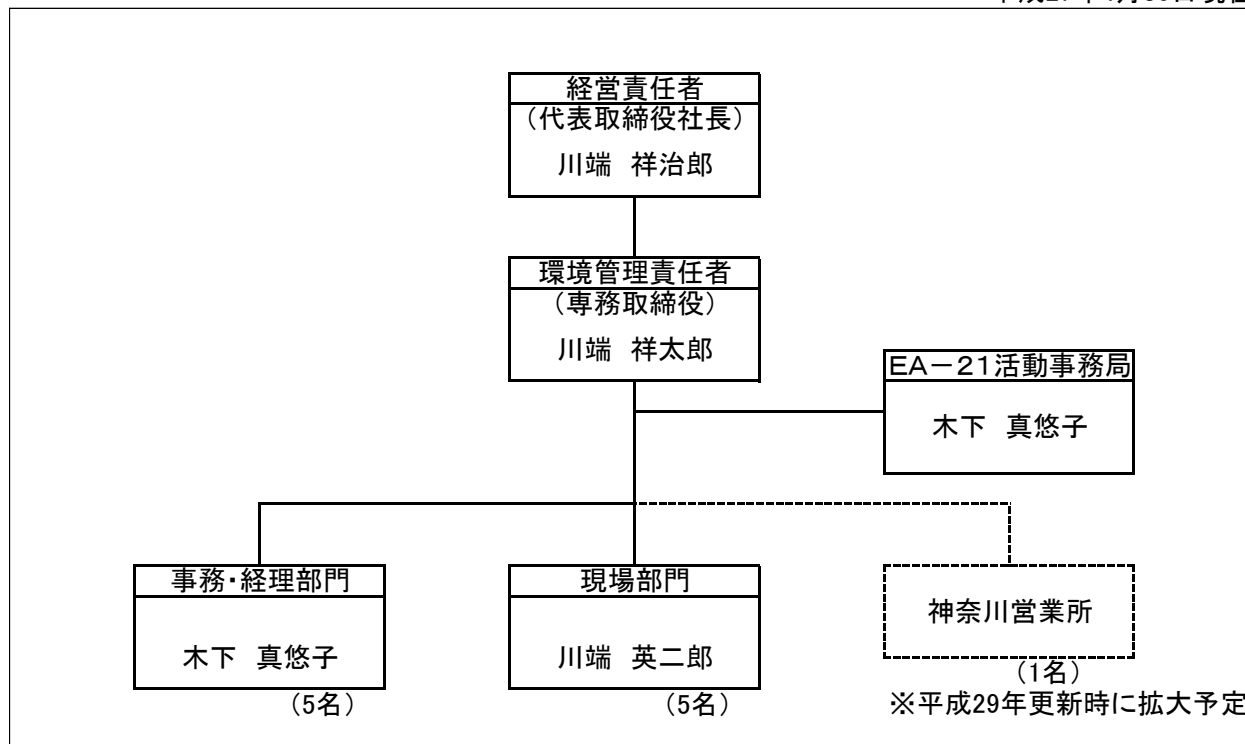
- 1) 事業者名 **株式会社 共栄社**
- 2) 代表者氏名 川端 祥治郎
- 3) 所在地 本社 静岡県島田市本通一丁目2902番地の35  
吉田倉庫 静岡県榛原郡吉田町川尻3885  
神奈川営業所 神奈川県座間市相模が丘三丁目33-9  
(平成29年更新時に拡大予定)
- 4) 事業活動 塗装工事: 建設塗装・重防蝕塗装・床工事・シーリング工事  
防水工事・外装工事・内装工事
- 5) 従業員数 14名
- 6) 環境管理責任者 川端 祥太郎  
連絡担当者 木下 真悠子
- 7) 連絡先 TEL (0547)36-3525  
FAX (0547)36-1832  
E-Mail t-kawabata@rock.odn.ne.jp
- 8) 建設業許可  
許可番号 静岡県知事 (般一23) 第2858号  
許可年月日 平成23年7月25日  
建設業の種類 建築工事業 塗装工事業 防水工事業  
内装仕上工事業 とび・土工工事業
- 9) 事業の規模  
① 設立 創業 昭和14年6月  
法人設立 昭和34年7月
- ② 事業規模  
従業員 14名  
事務所床面積 446.73㎡  
倉庫床面積 101.88㎡
- 10) 事業年度 3月1日～翌年2月末日
- 11) 認証・登録の対象範囲  
活動: 建設業  
(塗装工事業、防水工事業、とび・土工工事業、内装仕上工事業、建築工事業)  
対象組織: 株式会社 共栄社 (本社、吉田倉庫)



※神奈川営業所は平成29年更新時に拡大予定

## Ⅱ．実施体制

平成27年4月30日現在



### <環境管理組織における機能>

#### 経営責任者

- ①環境経営全般に対する責任と権限
- ②環境方針の作成と社員への周知
- ③全体の評価と見直し
- ④環境管理責任者の任命
- ⑤環境経営に必要な資源の準備(人材、資金、技術等)

#### 環境管理責任者

- ①環境経営活動の推進
- ②環境目標及び環境計画の作成
- ③活動事務局の文書作成に対するチェック及び改訂の指示
- ④経営者への進捗報告

#### EA-21活動事務局

- ①負荷の集計
- ②環境活動及びエコアクション21における文書の作成
- ③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④環境管理責任者補佐
- ⑤緊急時の想定結果及び対応策の策定
- ⑥文書・記録の管理

#### 各部門

- ①環境計画の実施
- ②問題点の把握と是正の実施
- ③社員への周知

#### 全従業員

環境方針への理解と活動の実施

## Ⅲ. 環境方針

### 企業理念

- ☆顧客様の厚い信頼を得て、高い品質を提供する。
- ☆安全は、心と体で指差呼称をし、確認する。
- ☆技能力を高め、施工力を強化する。

株式会社 共栄社は、企業活動の全域において、上記を推進していくと共に、積極的に地球環境の保全及び循環型社会の構築を目指します。

### 環境方針

- 1.事業活動が与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進致します。
  - ① 電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
  - ② リサイクル活動及び適正な分別を通して、事業活動に起因する廃棄物の削減に取り組めます。
  - ③ 水資源を有効活用し、節水や使用量の削減に取り組めます。
- 2.化学物質使用量の把握、及び適正な管理を徹底し、環境に配慮した事業活動を推進致します。
- 3.エコマーク商品を積極的に導入し、事務用品、建築資材(塗料等)等のグリーン購入を推進致します。
- 4.環境対応型の水性塗料の使用、及び凝集剤による排水処理を致します。
- 5.環境関連法規制及び協定を遵守致します。
- 6.日常の活動を通じて、環境方針を周知徹底すると共に環境問題への意識向上を図り、継続的改善に努めます。

制定年月日 平成27年3月1日

株式会社 共栄社

代表取締役 川端 祥治郎

(原本は署名あり)

## IV.環境目標

作成日：平成27年4月17日  
作成者：木下 真悠子

### 短期・中期環境目標

#### 1. 全体の環境目標 \*2

項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		平成28年度	平成29年度
		基準年度	実績	目標		目標	目標
1-①.二酸化炭素削減	kg-CO2	38,553	37,867	37,782	-2%	-3%	-4%
購入電力	kWh	12,256	13,481 <sup>*1</sup>	12,011	-2%	-3%	-3%
ガソリン	L	9,381	8,953	9,193	-2%	-3%	-4%
軽油	L	3,578	3,422	3,506	-2%	-3%	-4%
1-②.産業廃棄物	kg	22,388	26,350	21,940	-2%	-3%	-3%
廃プラ	kg	5,900	10,810	5,782	-2%	-3%	-3%
廃油	kg	10,218	8,740	10,014	-2%	-3%	-4%
1-③.水道使用量の削減	m <sup>3</sup>	341	364	334	-2%	-3%	-3%
2. 化学物質使用量	kg	—	299.9 <sup>*5</sup>	296.9	-1%	-2%	-3%
3. <sup>*3</sup> グリーン購入(事務用品)	商品	—	2 <sup>*5</sup>	3	+1商品	+2商品	+3商品
3-②.グリーン購入(建設資材)	t	—	3.6 <sup>*5</sup>	4	+1%	+2%	+3%
4. 水性塗料使用量	t	—	15.2	15.3	+1%	+2%	+3%

#### 2. 工事1件あたりの環境目標 \*4

項目	単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度
		基準年度	目標		目標	目標	基準年度
(契約100万円を超える工事件数)	件	71	72	+1%	+2%	+3%	+4%
1-①.二酸化炭素削減	kg-CO2	533.3	528.0	-1%	-2%	-3%	-4%
購入電力	kWh	189.9	188.0	-1%	-2%	-3%	-4%
ガソリン	L	126.1	124.8	-1%	-2%	-3%	-4%
軽油	L	48.2	47.7	-1%	-2%	-3%	-4%
1-②.産業廃棄物	kg	371.1	367.4	-1%	-2%	-3%	-4%
廃プラ	kg	83.0	82.2	-1%	-2%	-3%	-4%
廃油	kg	123.1	121.9	-1%	-2%	-3%	-4%
1-③.水道使用量の削減	m <sup>3</sup>	5.13	5.08	-1%	-2%	-3%	-4%
2. 化学物質使用量	kg	4.22	4.18	-1%	-2%	-3%	-4%
3. 水性塗料使用量	t	0.214	0.216	+1%	+2%	+3%	+4%

### 3. 売上あたりの環境目標 \*4

\*2

項目	単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度
		基準年度	目標		目標	目標	基準年度
100万円以上(注文書)の工事	万円	273	275.7	+1%	+2%	+3%	+4%
1-①.二酸化炭素削減	kg-CO2	138.7	137.3	-1%	-2%	-3%	-4%
購入電力	kWh	49.4	48.9	-1%	-2%	-3%	-4%
ガソリン	L	32.8	32.5	-1%	-2%	-3%	-4%
軽油	L	12.5	12.4	-1%	-2%	-3%	-4%
1-②.産業廃棄物	kg	96.5	95.6	-1%	-2%	-3%	-4%
廃プラ	kg	39.6	39.2	-1%	-2%	-3%	-4%
廃油	kg	32.0	31.7	-1%	-2%	-3%	-4%
1-③.水道使用量の削減	m <sup>3</sup>	1.33	1.32	-1%	-2%	-3%	-4%
2. 化学物質使用量	kg	1.1	1.09	-1%	-2%	-3%	-4%
3. 水性塗料使用量	t	0.0557	0.0562	+1%	+2%	+3%	+4%

\*1 黄色箇所は前年度未達成であり、今年度重要項目となる。

\*2 平成30年度以降は、次回策定時に再考する。

\*3 グリーン購入は、詰め替え用商品やエコ商品を含むものとする。

(「2. 工事1件あたり」「3. 売上あたり」の把握は困難なため除外する。)

\*4 「2. 工事1件あたりの環境目標」「3. 売上あたりの環境目標」は、平成26年度を基準年度とする。

\*5 化学物質使用量・グリーン購入量・水性塗料使用量は基準年度の把握が無い為、平成26年度を基準とする。

※購入電力二酸化炭素排出係数

平成25年度・26年度  
平成27年度

中部電力(平成24度)の「0.516kg-CO2/kWh」  
中部電力(平成25度)の「0.513kg-CO3/kWh」

## V. 環境活動計画（平成27年度）

活動項目	責任者	スケジュール												
		H27										H28		
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
<b>1.環境負荷の削減</b>														
<b>①二酸化炭素の削減</b>														
<b>購入電力・燃料</b>														
○照明	木下													
消し忘れチェック														▶
節電の表示		▶												
○空調														
使用していない部屋の空調停止														▶
温度設定夏26℃以上 冬22℃以下										▶				▶
自然光の取り入れ														▶
自然風の取り入れ					▶					▶				
○営業車・トラック	川端(祥)													
エコドライブ・アイドリング停止													▶	
点検・整備の実施														▶
<b>エコドライブ表示</b>		▶												
<b>②廃棄物の削減</b>														
○事務所	木下													
コピー用紙の両面使用														▶
manifest伝票の整理														▶
カタログ、パンフレット類の管理														▶
<b>ペットボトル・缶廃棄量の把握</b>													▶	
○建築現場	川端(祥)													
ゴミ重量の把握														▶
廃棄物の分別とリサイクル														▶
<b>③節水</b>														
節水表示	木下	▶												
手洗い節水														▶
<b>2.化学物質の使用</b>														
化学物質を含む塗料の適正な管理	川端(祥)													▶
<b>3.グリーン購入</b>														
○事務所	川端(貴)													
環境ラベル対応品の購入														▶
何度も使用可能な事務用品の購入														▶
○作業現場	川端(祥)													
グリーン購入対象塗料の購入														▶
<b>4.環境配慮工事</b>														
環境対応型の水性塗料の使用	川端(祥)													▶
<b>凝集剤による排水処理</b>														▶
<b>社会貢献活動</b>														
ペットボトルキャップの回収・把握	川端(祥)													▶

\*赤字は今期新規取組内容。



## VI. 環境目標の実績

### 運用期間(平成27年3月～平成28年2月)実績

#### 1. 全体の環境実績

項目	単位	平成25年度	平成27年度		平成27年度	評価		
		基準年度	目標			実績	目標比(%)	目標差(数値)
1-①.二酸化炭素削減	kg-CO2	38,553	37,782	-2%	43,064	114%	5,282.1	×
購入電力	kWh	12,256	12,011	-2%	14,610	122%	2,599.1	×
ガソリン	L	9,381	9,193	-2%	9,816	107%	622.6	×
軽油	L	3,578	3,506	-2%	4,463	127%	956.6	×
1-②.産業廃棄物	kg	22,388	21,940	-2%	38,263	174%	16,322.8	×
廃プラ	kg	5,900	5,782	-2%	7,830	135%	2,048.0	×
廃油	kg	10,218	10,014	-2%	20,860	208%	10,846.4	×
1-③.水道使用量の削減	m <sup>3</sup>	341	334	-2%	359	107%	24.8	×
2. 化学物質使用量	kg	299.9 <sup>*3</sup>	296.9	-1%	355.3	120%	58.4	×
3. <sup>*1</sup> グリーン購入(事務用品)	商品	2 <sup>*3</sup>	3	+1商品	3	100%	0.0	○
3-②.グリーン購入(建設資材)	t	3.6 <sup>*3</sup>	4.0	+1%	3.69	92%	-0.3	△
4. 水性塗料使用量	t	15.2 <sup>*3</sup>	15.3	+1%	25.8	169%	10.5	◎

#### 2. 工事1件あたりの環境実績 <sup>\*2</sup>

項目	単位	平成26年度	平成27年度		平成27年度	評価		
		基準年度	目標			実績	目標比(%)	目標差(数値)
(契約100万円を超える工事件数)	件	71	72	+1%	68	95%	-4	×
1-①.二酸化炭素削減	kg-CO2	533.3	528.0	-1%	633.3	120%	105.29	×
購入電力	kWh	189.9	188.0	-1%	214.9	114%	26.88	×
ガソリン	L	126.1	124.8	-1%	144.4	116%	19.52	×
軽油	L	48.2	47.7	-1%	65.6	138%	17.92	×
1-②.産業廃棄物	kg	371.1	367.4	-1%	562.7	153%	195.28	×
廃プラ	kg	83.0	82.2	-1%	115.1	140%	32.95	×
廃油	kg	123.1	121.9	-1%	306.8	252%	184.90	×
1-③.水道使用量の削減	m <sup>3</sup>	5.13	5.08	-1%	5.3	104%	0.20	×
2. 化学物質使用量	kg	4.22	4.18	-1%	5.2	125%	1.04	×
3. 水性塗料使用量	t	0.214	0.216	+1%	0.4	175%	0.16	◎

### 3. 売上あたりの環境実績 \*2

項目	単位	平成26年度	平成27年度		平成27年度	評価		
		基準年度	目標		実績	目標比(%)	目標差(数値)	総合
100万円以上(注文書)の工事	万円	273	275.7	+1%	402	146%	126.27	◎
1-①.二酸化炭素削減	kg-CO2	138.7	137.3	-1%	107.1	78%	-30.20	◎
購入電力	kWh	49.4	48.9	-1%	36.3	74%	-12.54	◎
ガソリン	L	32.8	32.5	-1%	24.4	75%	-8.05	◎
軽油	L	12.5	12.4	-1%	11.1	89%	-1.31	◎
1-②.産業廃棄物	kg	96.5	95.6	-1%	95.2	100%	-0.37	△
廃プラ	kg	39.6	39.2	-1%	19.5	50%	-19.72	◎
廃油	kg	32.0	31.7	-1%	51.9	164%	20.20	×
1-③.水道使用量の削減	m <sup>3</sup>	1.3	1.32	-1%	0.9	68%	-0.43	◎
2. 化学物質使用量	kg	1.1	1.09	-1%	0.9	81%	-0.20	◎
3. 水性塗料使用量	t	0.0557	0.0562	+1%	0.064	114%	0.01	◎

\*1 グリーン購入は、詰め替え用商品やエコ商品を含むものとする。

(「2. 工事1件あたり」「3. 売上あたり」の把握は困難なため除外する。)

\*2 「2. 工事1件あたりの環境実績」「3. 売上あたりの環境実績」は、平成26年度を基準年度とする。

\*3 「1. 全体の環境実績」は、化学物質使用量・グリーン購入量・水性塗料使用量は、基準年度の把握が無い為、平成26年度を基準とする。

※購入電力二酸化炭素排出係数

平成25年度・26年度  
平成27年度

中部電力(平成24度)の「0.516kg-CO2/kWh」  
中部電力(平成25度)の「0.513kg-CO3/kWh」

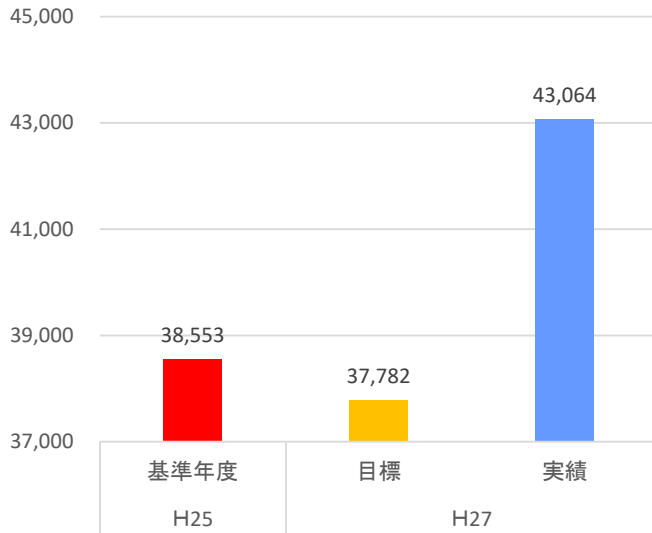
※評価基準

◎:よく出来ている    ○:出来ている    △:一部出来ていない    ×:出来ていない

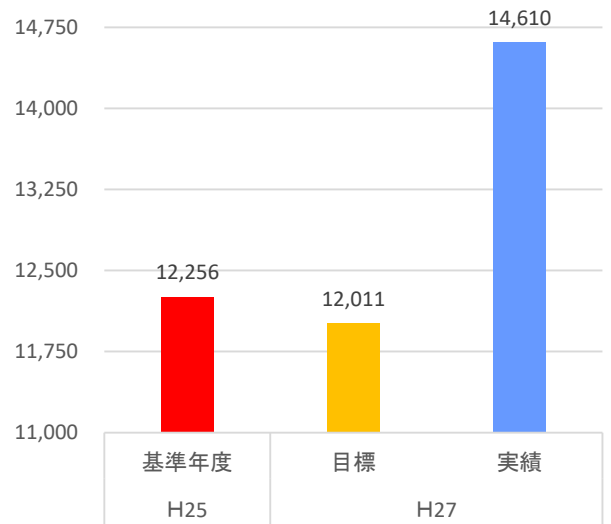
### 原因分析・是正処理

1-①.二酸化炭素	契約金額の大きい工事(規模が大きい)工事が増えたため、増加してしまった。
1-②.廃棄物	今期は塗料の整理を行ったため増加したが、今後の推移に気を付けたい。
1-③.水道使用量	来期より、洋式トイレへと変更になるため、どう変化するか注意したい。
2. 化学物質使用量	全体の塗料使用量が増えたため、割合での実績評価も検討したい。
3. エコ商品の購入	継続して購入できるエコ商品を増やしていきたい。
4. 水性塗料使用量	今期からの実績評価だが、良い数値だったため今後も継続したい。

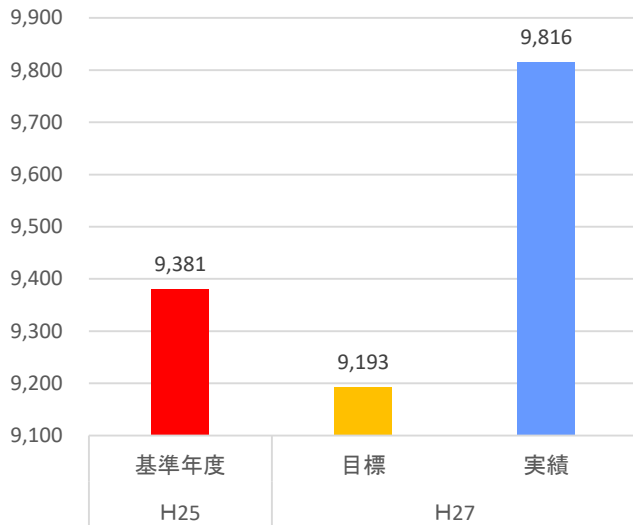
二酸化炭素 (kg-Co2)



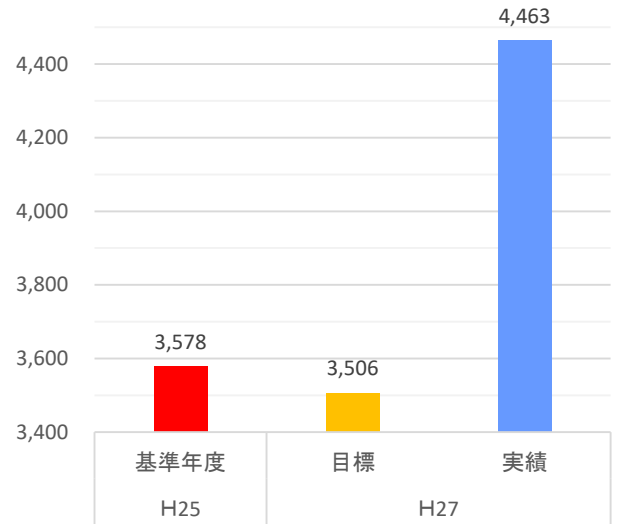
購入電力(kWh)



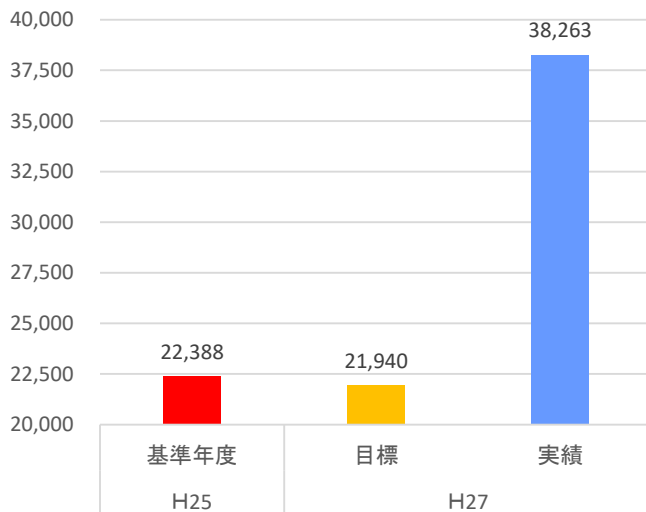
ガソリン(L)



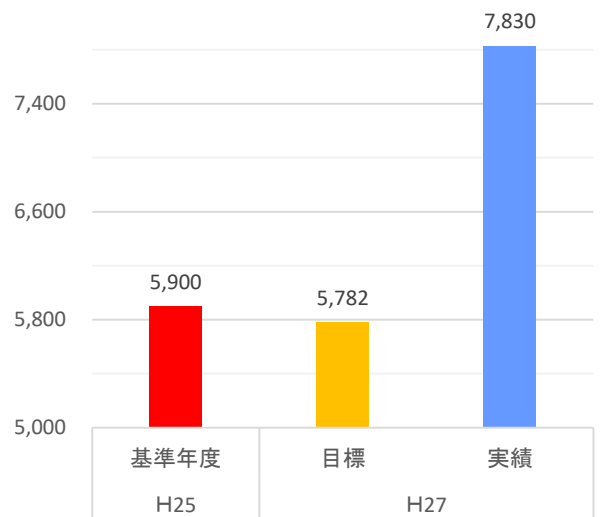
軽油(L)



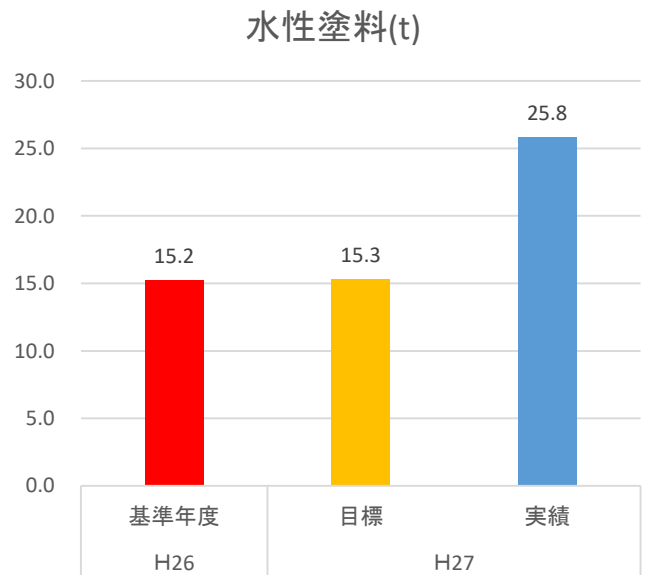
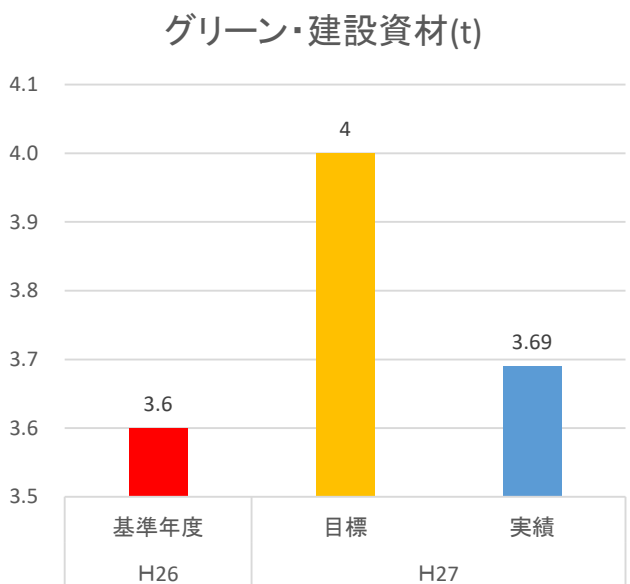
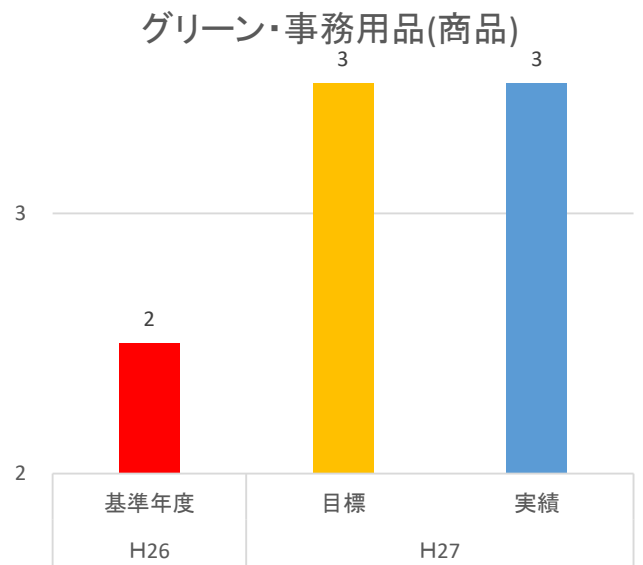
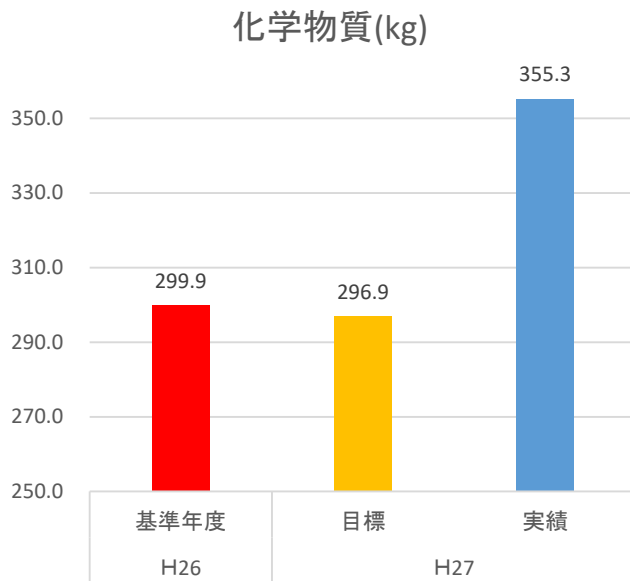
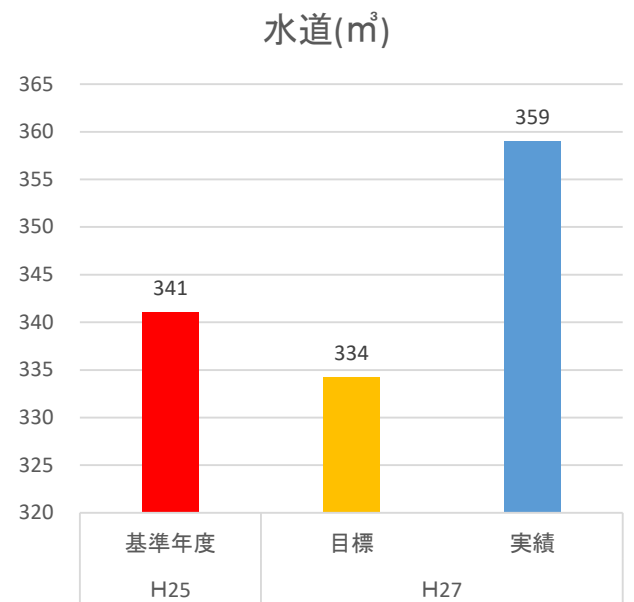
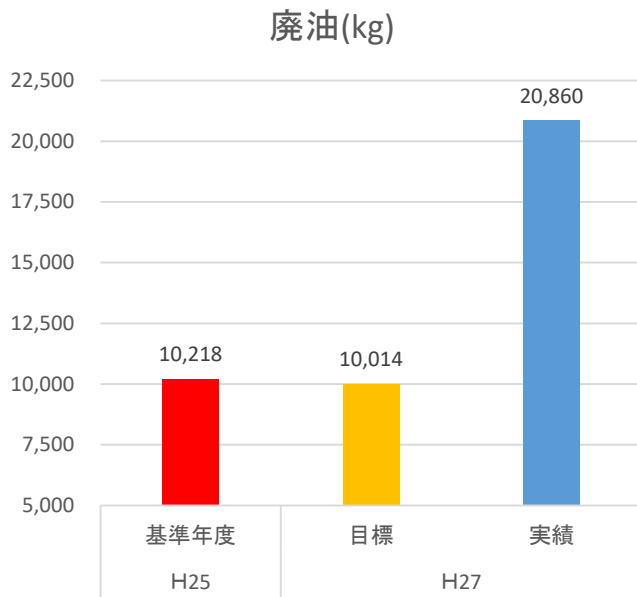
産廃物(kg)



廃プラ(kg)

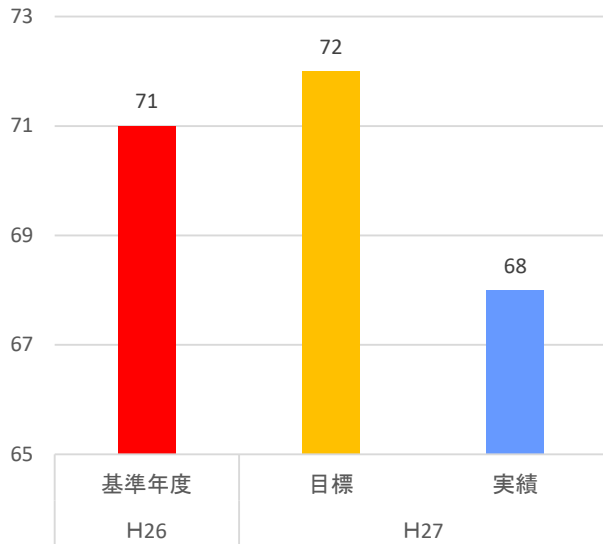


1.全体の環境実績における各項目の目標値と実績値のグラフ

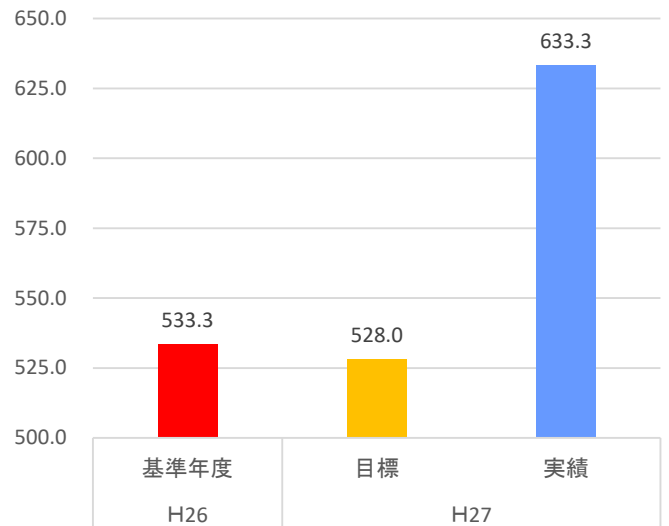


1.全体の環境実績における各項目の目標値と実績値のグラフ

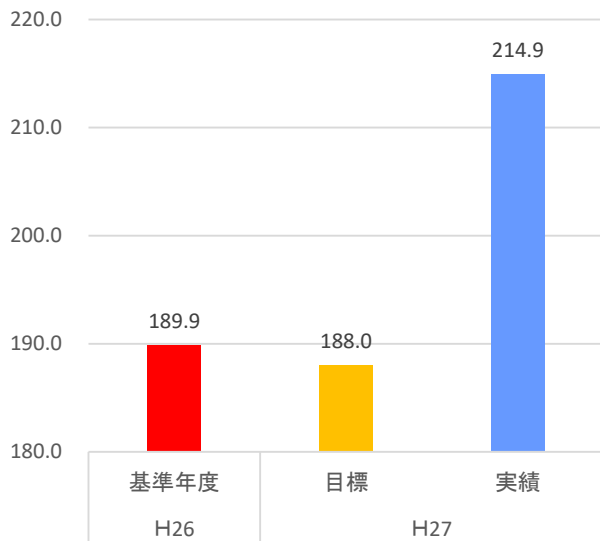
工事件数(件)



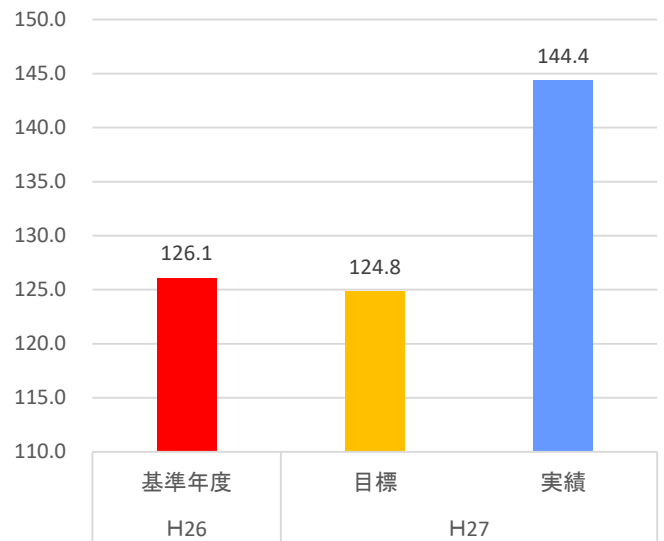
二酸化炭素 (kg-Co2)



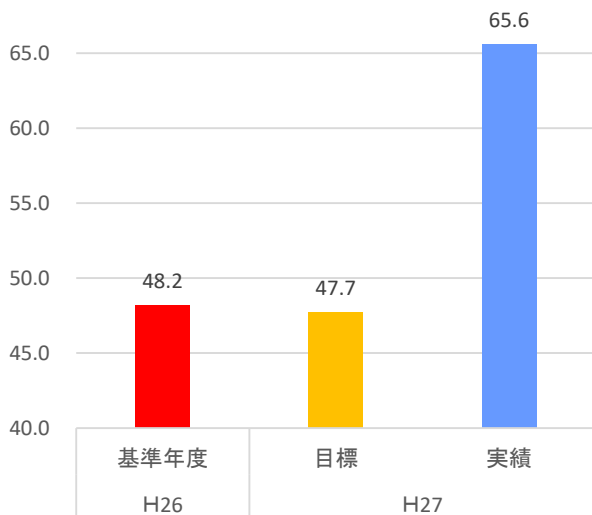
購入電力(kWh)



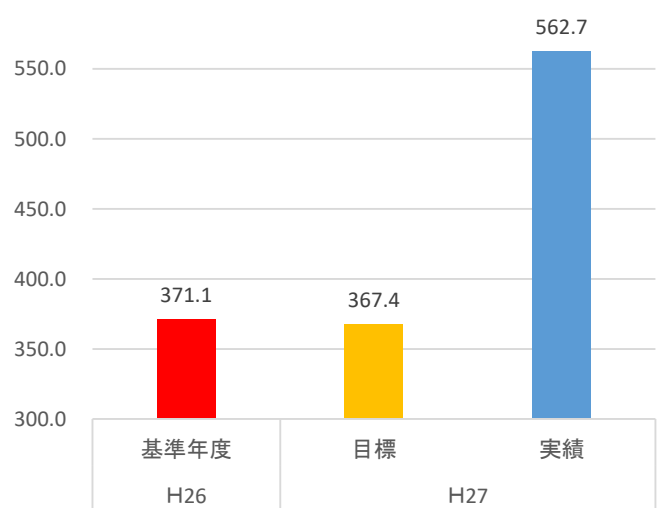
ガソリン(L)



軽油(L)

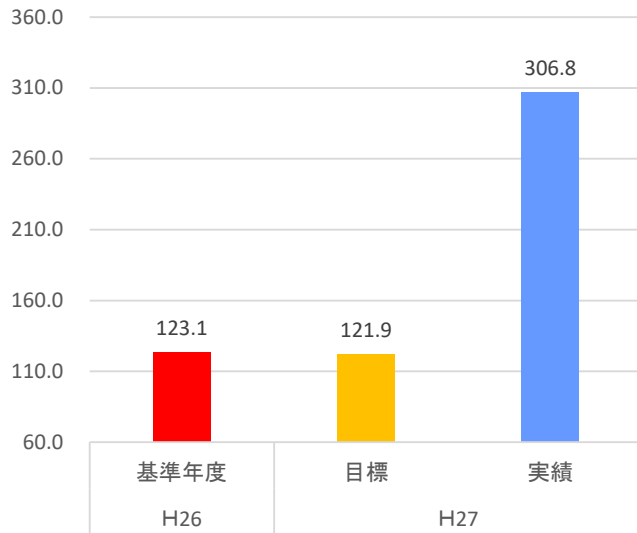


産廃物(kg)

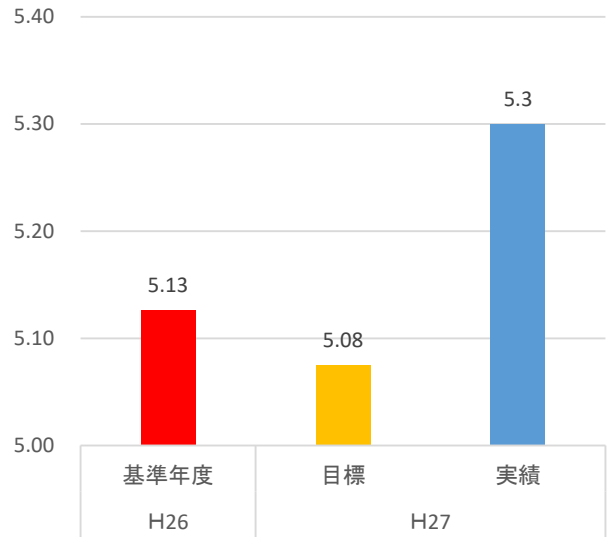


2. 工事1件あたりの環境実績における各項目の目標値と実績値のグラフ

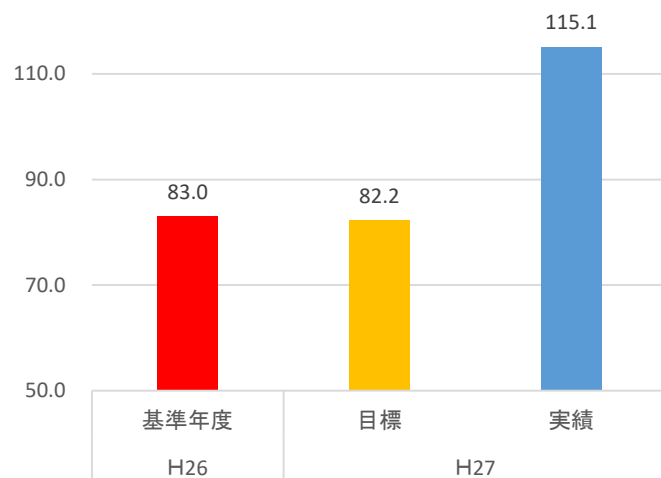
廃油(kg)



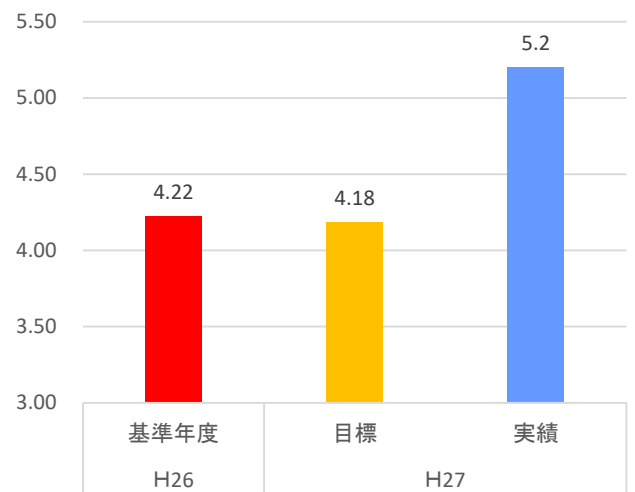
水道(m<sup>3</sup>)



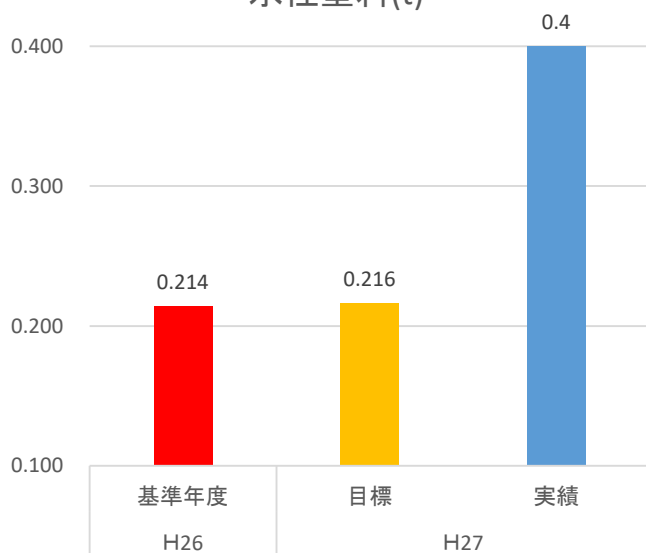
廃プラ(kg)



化学物質(kg)

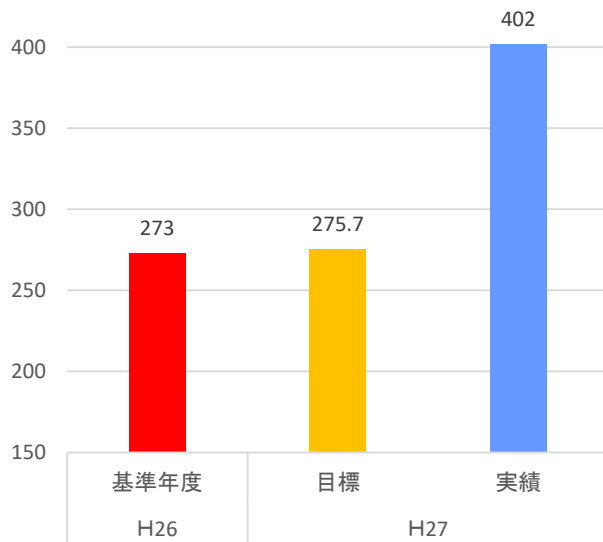


水性塗料(t)

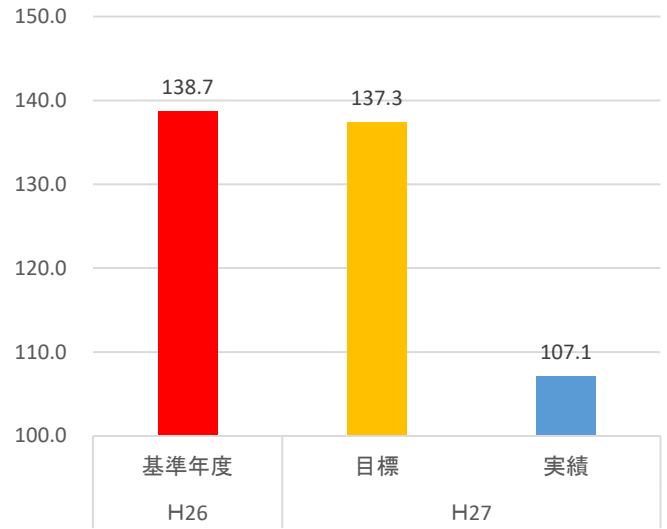


2. 工事1件あたりの環境実績における各項目の目標値と実績値のグラフ

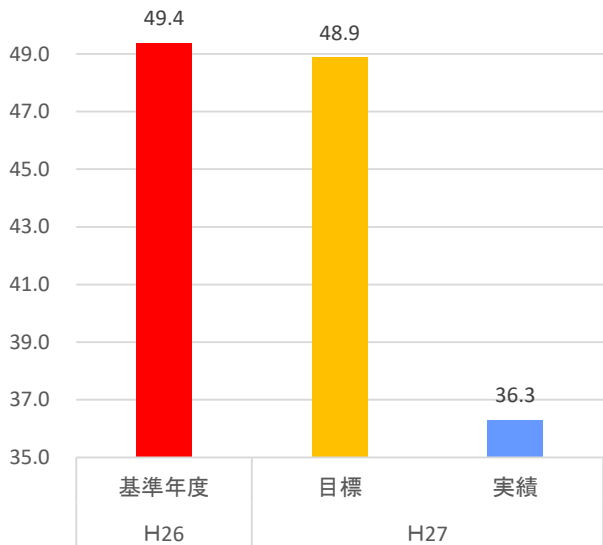
工事金額(万円)



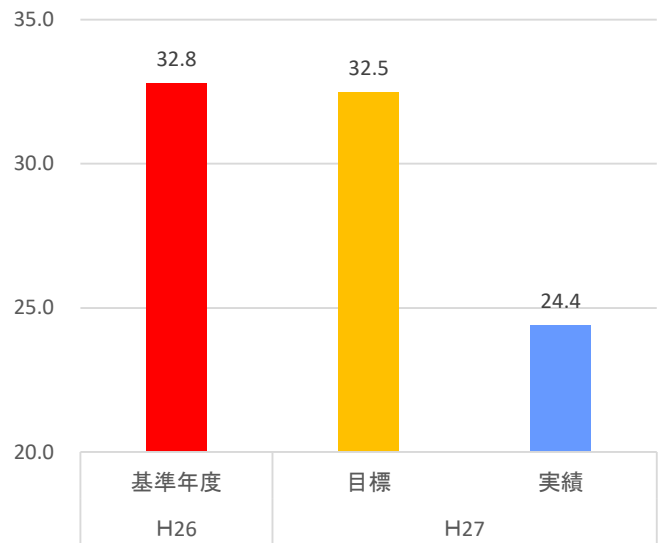
二酸化炭素 (kg-Co2)



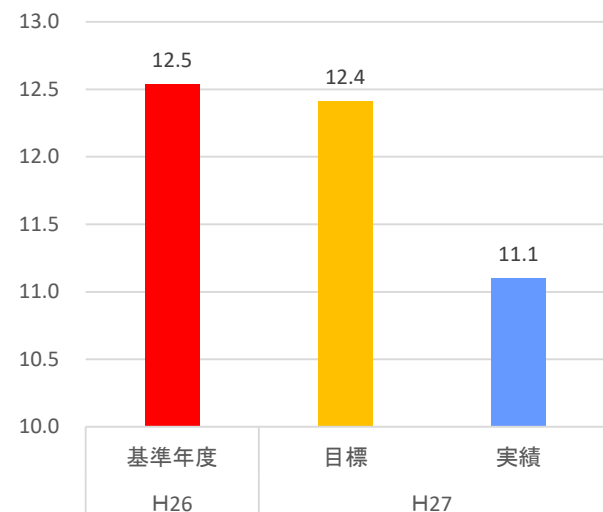
購入電力(kWh)



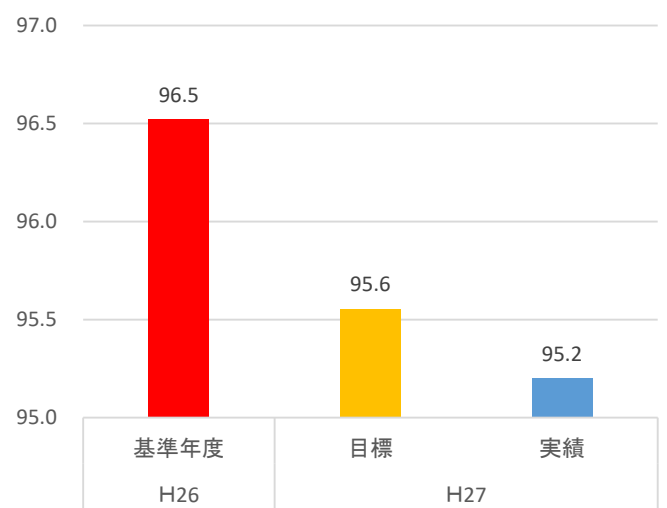
ガソリン(L)



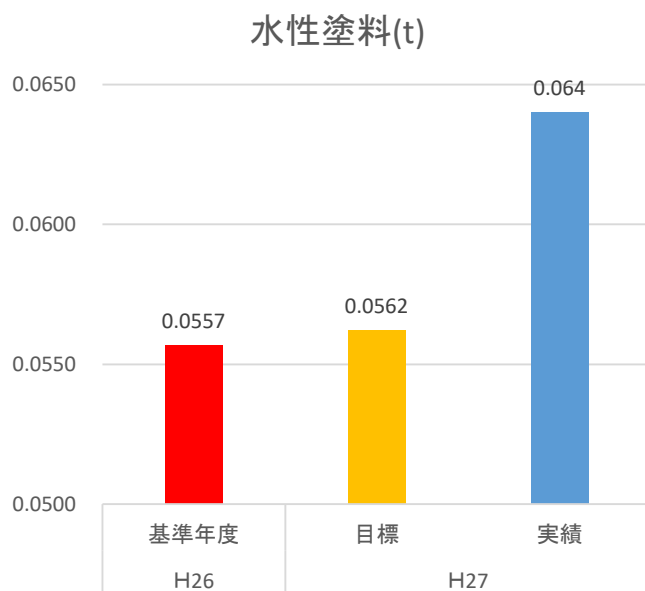
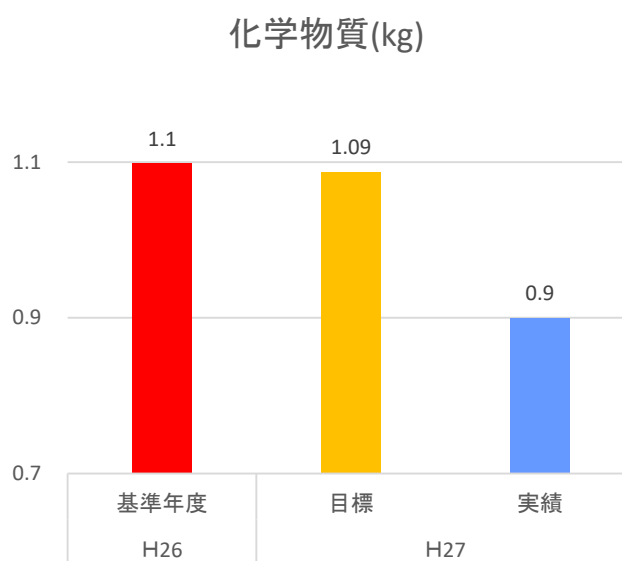
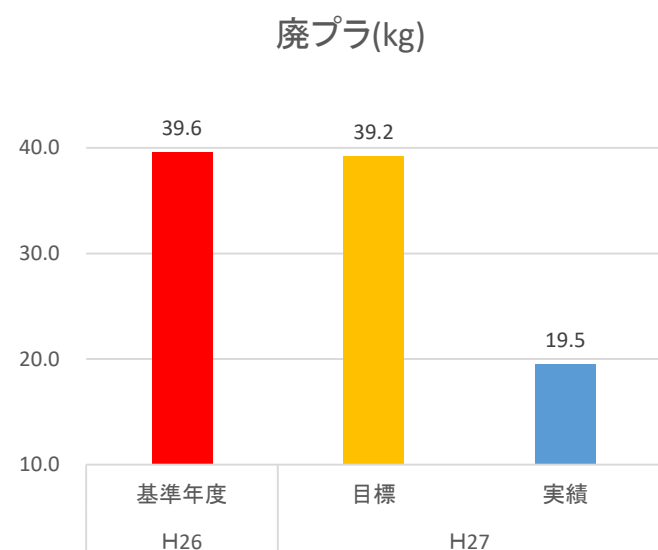
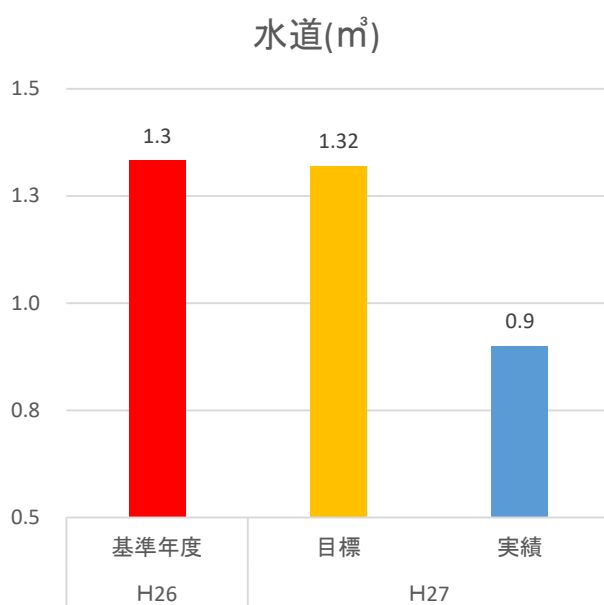
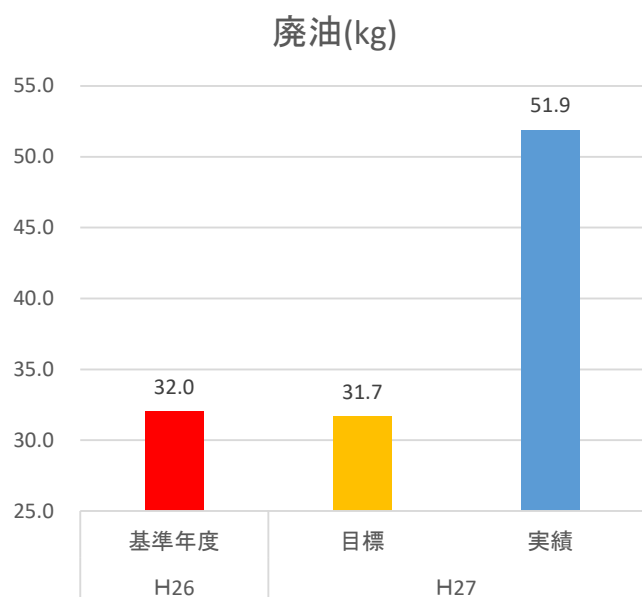
軽油(L)



産廃物(kg)



3. 売上あたりの環境実績における各項目の目標値と実績値のグラフ



3. 売上あたりの環境実績における各項目の目標値と実績値のグラフ



## VII. 環境活動計画の取組結果と評価及び次年度の取組内容

活動項目	責任者		評価	次年度の取組
<b>1.環境負荷の削減</b>				
<b>①二酸化炭素の削減</b>				
<b>購入電力・燃料</b>				
○照明	木下	◎	消し忘れチェックは会社として習慣化しており、このまま継続したい。	表示に関しては現状維持のため、次年度項目より削除。
消し忘れチェック		◎		
節電の表示		◎		
○空調		○	空調は、夏は7月～の使用とし、基本設定温度も守られていた。気温によって多少守られていない点はあったが無理なく継続したい。	設定温度の提示を行う
使用していない部屋の空調停止		○		
温度設定夏26℃以上 冬22℃以下		△		
自然光の取り入れ		◎		
自然風の取り入れ	◎			
○営業車・トラック	川端(祥)	○	エコドライブ表示が全車で行えなかった。	全車でのエコドライブ表示の実施
エコドライブ・アイドリング停止		○		
点検・整備の実施		◎		
エコドライブ表示		△		
<b>②廃棄物の削減</b>				
○事務所	木下	○	古紙のコピー用紙使用を徹底したため、古紙が増えすぎた。印刷の段階での両面使用を促進し、古紙を減らしたい。	古紙の管理・補充
コピー用紙の両面使用		◎		
マニフェスト伝票の整理		◎		
カタログ、パンフレット類の管理		○		
ペットボトル・缶廃棄量の把握	○			
○建築現場	川端(祥)	○	マニフェストの管理により徹底できた。	次年度継続実施
ゴミ重量の把握		○		
廃棄物の分別とリサイクル		○		
<b>③節水</b>				
節水表示	木下	◎	前年度より継続して実施できた	表示は現状維持のため、次年度より削除。漏水確認実施。
手洗い節水		○		
<b>2.化学物質の使用</b>				
化学物質を含む塗料の適正な管理	川端(祥)	◎	倉庫の整理も実施できた	管理・整頓の継続
<b>3.グリーン購入</b>				
○事務所	川端(貴)	○	再生紙使用品や詰め替え品を優先して購入できた。	商品数を増やす。
環境ラベル対応品の購入		○		
何度も使用可能な事務用品の購入		○		
○作業現場	川端(祥)	○	前年度との比較を開始した。	数量把握を継続。
グリーン購入対象塗料の購入		○		
<b>4.環境配慮工事</b>				
環境対応型の水性塗料の使用	川端(祥)	○	水性塗料使用量比較の開始。	次年度継続実施
凝集剤による排水処理		○		
<b>社会貢献活動</b>				
ペットボトルキャップの回収・把握	川端(祥)	○	ゴミ分別表示により強化できた。	継続実施

\*赤字は今期新規取組内容。

## Ⅷ. 当社の取組



消火器の設置・管理



コンセント表示



裏紙の使用・分類



喫煙場所の提示



ゴミ分類表示



塗料の適正な管理



缶類の分類



凝固剤の使用

## Ⅸ.環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果

作成日：平成26年11月25日

改訂日：平成28年5月19日

作成者：木下 真悠子

### 環境関連法規の遵守状況一覧表及び評価

法規・条例・規制	要求事項・内容	条項番号	当社の対応	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管場所の掲示	12条2項	産廃物の種類毎5カ所設置	○
	マニフェストの管理・保管	12条3項	A、B2、D票、E票の回収及び5年間の保管	
	マニフェストの期間内返却		90日以内または180日以内	
	マニフェスト交付等状況報告書の提出	年1回(6月末まで)		
	廃棄物処理業者との委託契約	12条5項	契約(書)の締結	
リサイクル法	廃棄物発生の抑制	4条	廃棄物等の内、有効な物の循環的な利用促進(再資源の使用)	○
	資源再生及び再利用の促進			
自動車リサイクル法	使用済み自動車の引き取り	8条	業者への引渡し	○
	引渡し、再資源化			
家電リサイクル法	特定家電機器の適正な廃棄処理	6条	適正な引渡し・処理	○
	資源の有効活用		長期に渡る使用	
グリーン購入法	グリーンマーク商品の購入	5条	エコ商品の購入・使用	○
			詰め替え商品の使用	
消防法	火災の予防	10条	消火器等の位置の確認	○
	災害被害の軽減			
	危険物の取り扱い	9条2項	シンナー・塗料の適正な管理	
下水道法	公共用水域の水質保全	10条	水質の管理	○
			凝固剤の使用(廃油有害物質排出禁止)	
PRTR法	化学物質の管理	4条	化学物質を含んだ塗料の適正管理	○
			SDSの管理	
環境基本法	廃棄物の適正処理	8条	再生資源の利用	○
	環境負荷の低減		環境活動への取組	
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	廃棄物処理委託先の確認	10条2項	年1回の現地確認	○
			記録の保管(5年間)	
労働安全衛生法	健康保持・増進、安全確保	65条2項	健康診断の実施	○
			有機溶剤検診の実施(半年に1回)	

\*評価基準 ○:出来ている ×:出来ていない

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、遵守されていることを確認致しました。法規への違反は有りません。なお関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません

遵守確認日：平成28年5月20日

遵守確認者：木下 真悠子

## X 代表者による全体評価と見直し結果

今回、初めて年間を通した活動を実施し、レポート第1号発行時より詳細な結果を得られることが出来ました。昨年と比べ、「エコアクション」という活動が日常の業務の中に根付いてきたと感じております。

さて、結果に関してですが、前年度と比べ「×」項目が多く見受けられました。しかし、今回初めて「売上あたりの環境実績」項目を設けましたところ、目標を達成出来ている項目が多いことが分かりました。今期は大きな工事の受注が多く、その分エネルギー排出量も増えたと考えております。今後も工事の内容により、環境実績は変化していくと思いますが、余分な環境負荷は与えず、また、そういった状況でも事務用品のグリーン購入等、工事の影響の少ない項目で数値を伸ばそうと思います。

来期は、神奈川営業所を対象とし実施体制の拡大を予定しております。

より一層、会社全体でのエコアクション活動の取り組み力を入れてまいります。

平成28年5月25日

株式会社 共栄社

代表取締役 川端 祥治郎